

可愛いくて品のある私の大好きな奈良の"鹿ちゃん"にラブレターを送ります。

"鹿ちゃん"お元気ですか?私は元気しております。ひな祭りが誕生日の私は三月四日から後期高齢者になりました。ますます知らない世界ドキドキワクワク感の世界に突入しました。年齢を重ねるということは思ったよりも嬉しいことが多くあり私は今のところ気に入っています。先日悲しいニュースを耳にしました。悪い人間が、おとなしくて可愛いあなたに矢を放ったという信じられないニュースです。一本の矢が命中して殺されたという話に大きなショックを受けました。涙が流れ止まらなくなりました。十分に気をつけて下さいね。私は東大阪市で産声をあげました。ラッキーなことには奈良が地理的に近くて子どもの頃からすっかり奈良のとりこになりました。私は奈良公園をウロウロ歩くのが大好きです。四季を通して私の家にはない広い広い芝生のお庭で私は転げまわり遊びました。国宝級の建物よりも国の天然記念物に指定されているあなたが一番好きです。これからも私を忘れないでいつまでも遊んで下さいね。長くお会い出来ない時には写真で私は我慢しています。あなたのお顔を眺めていると嫌なことは忘れてしまいます。ありがとうございます。感謝です。あなたの頭をそつとなでなですると恥ずかしげにあなたは私を見つめてくれます。その時の仕草がたまらなく可愛くて又お会いしたくなるのです。結婚後、東京、アメリカと転々としてしまいましたが私はあなたの姿は決して忘れたことはありません。奈良公園には鹿ちゃんがよく似合います。世界一の景色だと私は毎回・毎回思っています。50歳過ぎに私は生まれ故郷の大阪に帰ってきました。何時でもあなたに会うことができるということで私は交通の便利の良いところに居を構えました。30分で近鉄奈良駅に到着です。私の一年は奈良の行事で始まりそして終わります。若草山の山焼き、二月堂のお水取り、万燈会、若宮御祭り等々お祭り大好き人間の私はまつりイベントには何度も参加します。その上薪能や灯影能にも出かけます。あなたが待っているからです。勿論本命はあなたです。奈良公園の観光大使のナンバーワンは"鹿ちゃん"あなただと思います。広大な芝生の上をのんびりと歩く鹿ちゃんの姿は古都奈良の景色にピッタリです。つんと乙にすました上品な顔のあなたが私は好き・好き・好き・大好きです。何があっても表情も変えないあなたにびっくりです。媚もせず可愛い仕草のあなたに大きな大きな拍手を私は送ります。時には鹿せんべいをあなたはねだって静かに頭を下げます。その姿可愛く私はぞっこん惚れこんでいます。品のよさが全身からあふれ出ていて素晴らしいです。1300年の歴史上にはあなたの存在は大きく、鹿と奈良は一幅の絵になります。奈良公園をお散歩する姿は美しいです。海と温泉に昔から引かれていた私は老後は熱海で暮らしたいが夢でした。しかしあなたから別れるのが辛かったので足ふみをしていました。しかしラッキーにも私の鹿ちゃんファンをよく、よく知っている友人が奈良在住です。あなたに会うと私は子ども時代を思い出し純な心になることをよく知っています。いつでも私を誘ってくれると約束してくれました。私は一年前に引越し熱海にきました。嬉しい友人です。あなたに会いに度々足を運ぶことができるので安堵しました。大阪に住んでいた頃の私の大好きな奈良の街を自分の足で歩いていたコースを思い出してい

ます。あなたはいつでもそこで私を待っていてくれて喜んでくれましたね。ありがとう。私は近鉄奈良駅から東向き商店街をキョロキョロしながら猿沢の池に行きます。小さな可愛い亀ちゃんにご挨拶。一寸休憩して長い階段を登り興福寺のお庭にでます。あなたに必ず会えるところです。宝物館に入り楽しい阿修羅像に手を合わせます。次に足は春日大社に向かいます。両側に並ぶ灯籠の影からあなたが覗いています。角きり神事の広場の前ではその時の行事を思い出しながら頭を下げます。長い参道もあなたと一緒に短く感じ嬉しいのです。感謝です。参拝後横道から静かな小道を通りぬけて若草山の前にでます。途中の古風な茶店で時々会うあなたはいつもお座りしていますね。若草山の前のお土産屋さんや老舗の墨のお店を眺めながら手向け山神社を通りぬけて三月堂、二月堂にでます。この広場で私は盆踊りをしたことがあり好きな場所の一つです。二月堂では舞台の上から奈良の町並みを眺めます。お線香の香りを楽しみつつ古人になった私は奈良の街のかまどの煙などを見下ろし優越感を味わいます。以前は無粋な公衆電話がここにありました。友人に電話をした思い出があります。ここで求めた椿の付けさげは私のお守りです。肌身離さず私は持っています。長い階段を降り東大寺に向かいます。小道に沿った土塀にも長い歴史を感じ好きな道です。途中のお地藏様にも私は手を合わせ世界の人々の幸せを願います。東大寺の前にはいつもあなたは仲間たちと歩いています。ここは観光客が多く私はあなたを独り占めできず遠くからただただジッと眺めているだけですが、大勢にかこまれたあなたを眺めているだけで幸せです。静かな横道が大好きな私は近鉄奈良駅までは細い道を選んで歩きます。昔ながらの建物のおそば屋さんや依水園の立派なお庭を横目で見ながら立派な県庁前に足は進みます。何時もの私のコースは終わりに近づきます。そろそろ私の足は疲れ始めてきます。まだまだエネルギーが残っている時には観光会館にストップです。奈良の余韻に浸るのです。途中で時には"柿の葉すし"を買い私は電車に乗ります。嬉しい楽しい私の一日は終了です。充実感が体中にあふれ幸せ感でいっぱいです。いついつまでも自分の足であなたに会いに私は行きたいのです。足を丈夫にしないでとは私はいつも思っています。後期高齢者の私です。身体に気をつけます。命の続く限り私は頑張りますので私を待っていてください。守って下さい。あなたに出会った私はラッキーでした。70年も続いた私の大切な恋人?です。これからも大きな喜びを私に下さい。お願いします。あなたは私の宝物です。永遠の"恋人"です。最後に余談になりますが"鹿のふん"が奈良のお土産になっていますね。あなたのふんがお土産になったのを聞き驚きました。生き物のふんが形になってその土地のお土産になるというのはあなたのフアンが多いということでしょうね。ジェラシーを覚えます。スゴイことです。

山田 せつ子 （静岡県熱海市）